

国際シンポジウム デジタルと芸術

8Kスーパーハイビジョン映像鑑賞

日時: 2017年11月17日(金)

12時~13時および13時~14時:

8Kスーパーハイビジョン映像鑑賞

(主催: NHK 定員予約制)

於: 渋谷神山町 シアターU)

15時~18時:

国際シンポジウム「デジタルと芸術」

(於: 東京大学教養学部アドミニスト

レーション棟3階学際交流ホール)

Béatrice Joyeux-Prunel (École normale supérieure, Université Paris Sciences Lettres 准教授, Digital Humanities for Art History 部門長)

« L'histoire transnationale de l'art au prisme du numérique »

(「デジタルを通して見るトランスナショナル美術史」日本語通訳付)

三浦篤(東京大学総合文化研究科 教授)

「8K映像と美術史研究の可能性 —ルーヴル美術館の作品を例に—」

落合淳(NHK制作局チーフプロデューサー)

「8Kスーパーハイビジョン 美術応用の可能性」

和家尚希(東京大学先端科学技術研究センター 博士課程)

「Sonification of visual information for a new perspective on “seeing”」

主催: 東京大学総合文化研究科 後援: 東京大学「戦略的パートナーシップ大学プロジェクト」

お問い合わせ・映像鑑賞予約: torahiko_terada@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp (寺田研究室)

国際シンポジウム デジタルと芸術

主催（映像鑑賞）NHK / （国際シンポジウム）東京大学総合文化研究科

後援：東京大学「戦略的パートナーシップ大学プロジェクト」

Béatrice Joyeux-Prunel



フランスのÉcole normale supérieure, Université Paris - Sciences Lettres 准教授。美術史のデジタルリソース・ツール研究グループArtlasを率い、Digital Humanities for Art History 部門長。Les avant-gardes artistiques. Une histoire transnationale. (3 volumes) 等、著書多数。

三浦 篤



東京大学大学院総合文化研究科教授。専門は西洋近代美術史（19世紀フランス絵画）、日仏美術交流史。著書に『まなざしのレッスン①②』、『近代芸術家の表象 マネ、ファンタン＝ラトゥールと1860年代のフランス絵画』、『西洋絵画の歴史3：近代から現代へと続く問いかけ』等多数。

落合 淳



NHK制作局8K制作事務局長、チーフプロデューサー。科学・環境番組部ディレクター、チーフプロデューサーとして、主にNHKスペシャル、クローズアップ現代などの科学ドキュメンタリーを作成。現在8Kスーパーハイビジョンコンテンツ制作統括を務める。

和家 尚希



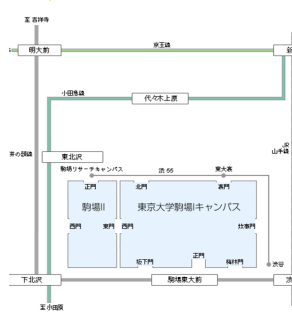
東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程に在学。視覚情報を音声に変換するデバイス「Sight」を開発するクリエイター集団「Sight Project」を2015年に発足。目を使わない新しい「見え」の形を探る試みを続けている。2017年に展覧会「Sight」（於：金沢21世紀美術館）。

8Kスーパーハイビジョン番組「ループル永遠の美」映像鑑賞



東京都渋谷区神山町4-14
第三共同ビル内シアターU
第一回目上映 12時—13時
11h40 第三共同ビル前集合
第二回目上映 13時—14時
12h40 第三共同ビル前集合
定員予約制（20名×2回）

国際シンポジウム デジタルと芸術 開催会場



東京大学駒場Iキャンパス
アドミニストレーション棟
学際交流ホール
井の頭線「駒場東大前」駅
教養学部方面出口前の正門
入ってすぐ右にあるアド
ミニストレーション棟3階
15時—18時（入場自由）

お問い合わせ・映像鑑賞予約は下記メールアドレスへ

torahiko_terada@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp 寺田研究室

（映像鑑賞の予約は定員に達した時点で締め切らせていただきます）